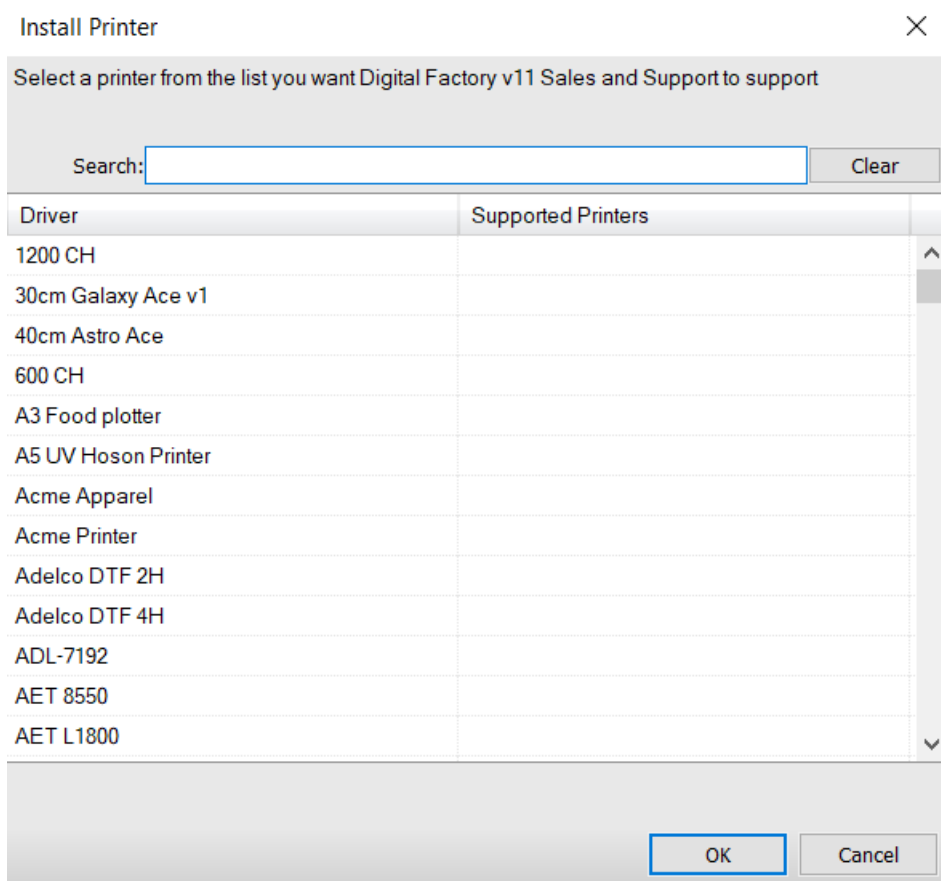
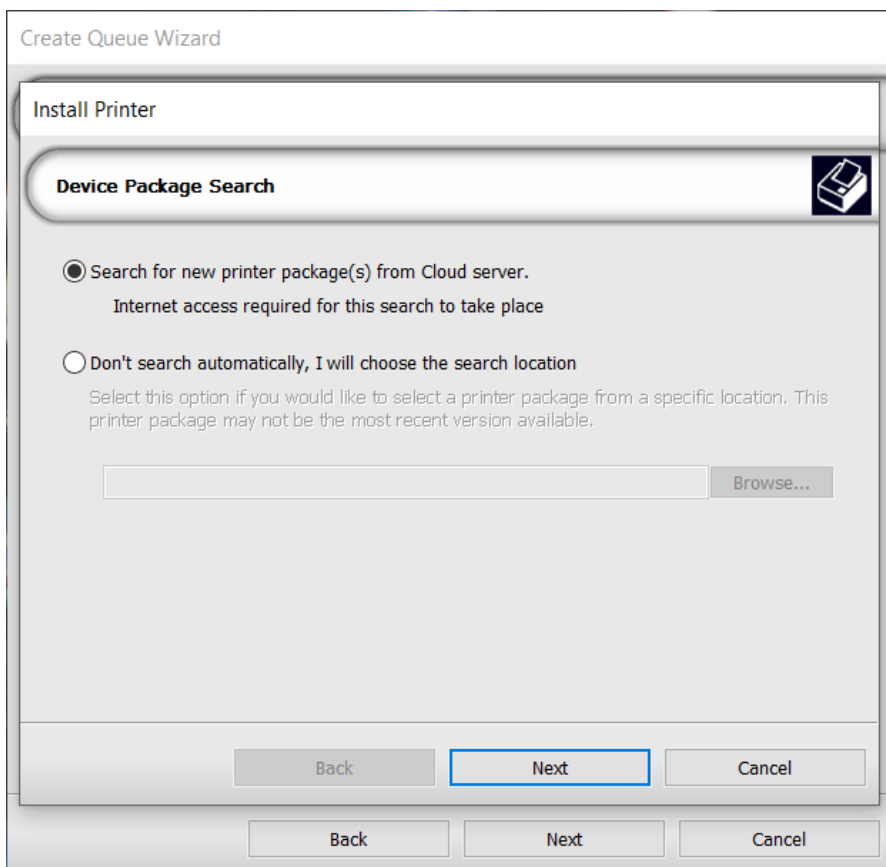


ユニバーサルコントローラードライバー

ユニバーサルコントローラードライバーは、既存のデバイスインストールメニュー内でデバイスが見つからない場合に、ユーザーが作業用の印刷キューを作成できるようにする目的で設計されています。ドライバーには、最も一般的なマシンに対応する各種の印刷モードの詳細な選択肢が含まれています。印刷モードの選択後にインク設定を変更すると、ステップバイステップで操作を進めることができ、簡単かつ短時間で使用中のデバイスで印刷できます。

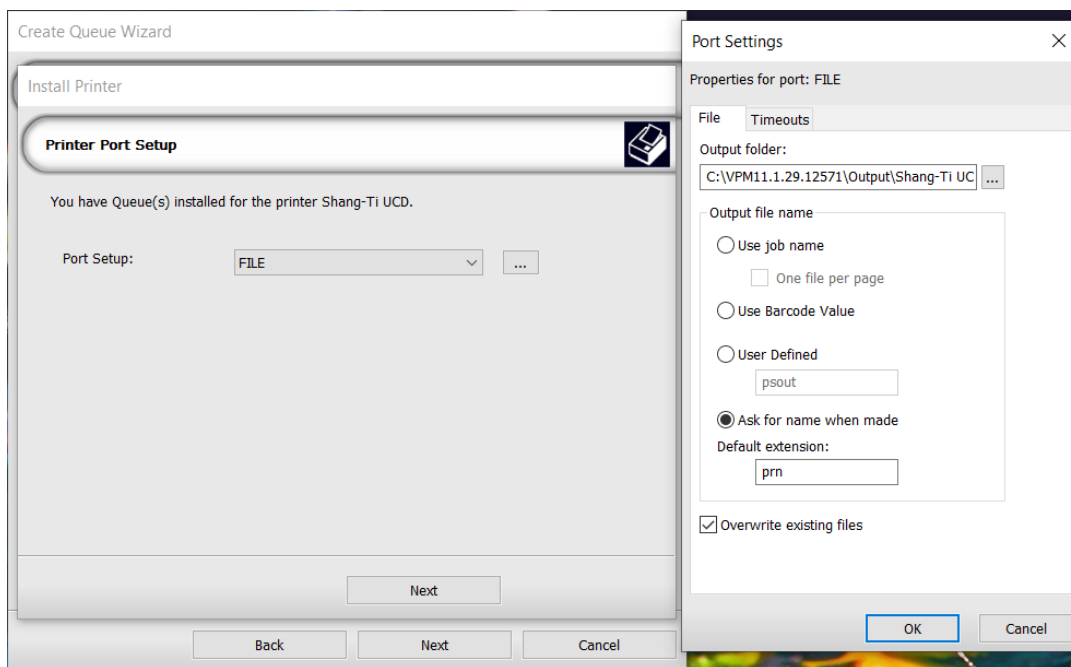
Digital Factory をインストールした後の最初の処理では、キューの作成ウィザードが実行されます。「プリンターのインストール」をクリックし、ユニバーサルコントローラードライバーを検索します。ドライバーを選択し、「OK」をクリックします。





「プリンターパッケージの検索」ポップアップが表示され、ドライバーがインストールされます。プログレスバーが終了になったら「次へ」をクリックし、「ポート設定」ウインドウへ進みます。ほとんどの場合は、ポートは **FILE** に設定されています。状況によっては、TCP/IP または NULL が使用されますが、**FILE** が最も一般的なポート構成です。

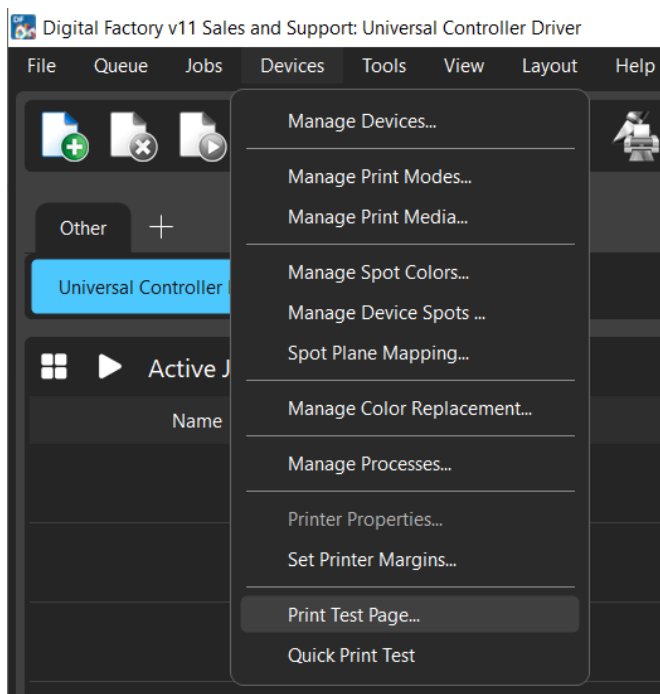
ポートが **FILE** に設定されたあとポートドロップダウンメニューの横にある三点リーダーをクリックすると、ポートプロパティを調整することができます。ポートプロパティには、出力フォルダー、ファイル名の設定、デフォルトの拡張子が含まれています。コントローラーソフトウェアにホットフォルダーがある場合は、ホットフォルダーを出力先に設定できます。この設定で **Digital Factory** から印刷すると、ファイルはコントローラーソフトウェアに直接送信されます。使用しているコントローラーソフトウェアによっては、ファイル拡張子の変更が必要な場合があります。拡張子は、**Digital Factory** 内のキューのプロパティから変更することもできます。



キューウィザードの作成の手順に従ってキューの作成を完了し、**Digital Factory** に取り込みます。デバイスを動作させるための最初のステップは、使用できる印刷モードを見つけることです。画面右側の「キューの情報」ウィンドウへ移動します。「デフォルト」と表示されているドロップダウンボックスをクリックすると、一般的なデバイスの印刷モードが利用可能になります。ここでは、接続されているデバイスで動作する印刷モードを選択してください。正しく印刷するかどうかではなく、デバイスが印刷することのみが重要です。ファイルはエラーを生じることなくコントローラソフトウェアで開かれます。手順は次の通りです。

- ドロップダウンメニューから印刷モードを選択します。
- テストページを印刷します（デバイス＞テストページの印刷＞イメージの選択＞準備ができれば印刷する）。
- 必要に応じて、印刷データファイル（.prn）をコントローラソフトウェアへ移動します。

コントローラソフトウェアでエラーを生じることなくファイルを開くことができれば、プロセスを続行できます。エラーが発生した場合は、動作する印刷モードが見つかるまで上記のプロセスを繰り返します。



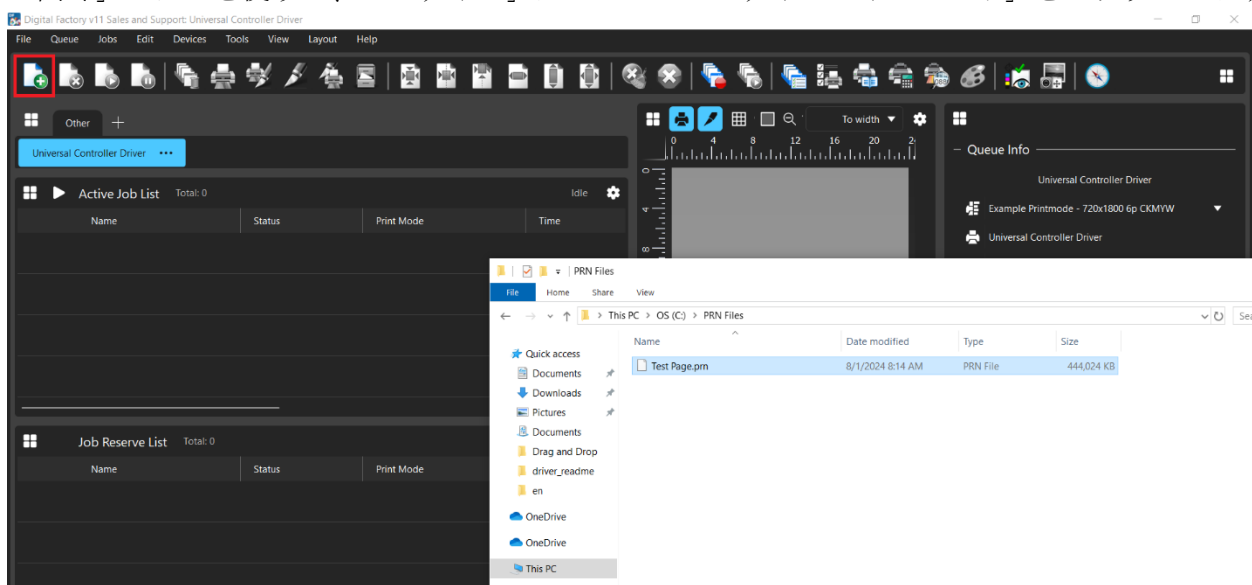
テストファイルが印刷され、コントローラーソフトウェアで正常に開いたときに、カラーが正しく表示されない場合があります。カラーを修正するには、デバイスの印刷ノズルに一致するようインク設定を調整することが必要です。これは[インク順序設定](#)で行うことができます。

UCD 自動設定

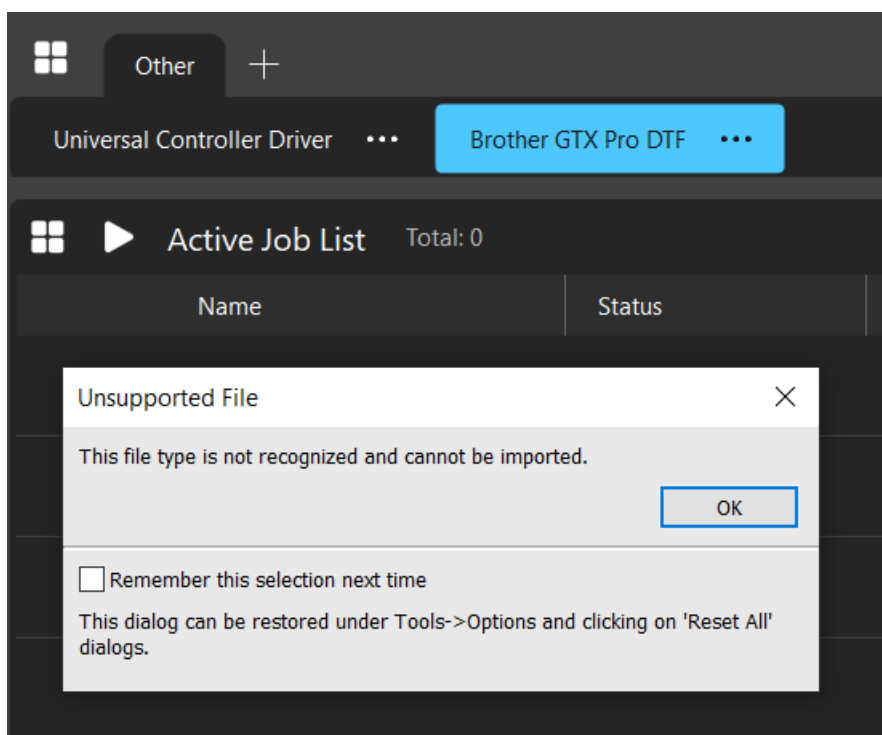
ユニバーサルコントローラードライバーは、印刷データファイル（PRN/PRT）を使用して印刷モードを作成するためのドラッグアンドドロップワークフローをサポートしています。この処理によって、ユーザーは、カスタマーサポートに連絡して印刷モードを生成してもらうのではなく、印刷モードを自動的に生成してもらうことができるので、貴重な時間を節約できます。

この機能を使用するには、**Digital Factory** がインストールされ、ユニバーサルコントローラードライバーがキュー設定とともにインストールされている必要があります。ユニバーサルコントローラードライバーのインストールの詳細については、上記の説明を参照してください。

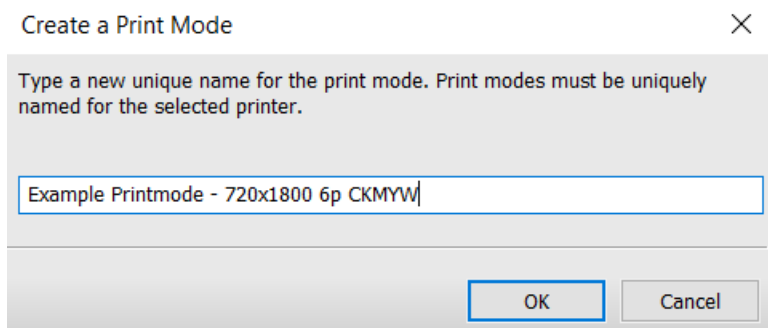
ソフトウェアのインストールとドライバーのインストールが完了したら、目的の印刷データファイルに移動します。ファイルをファイルエクスプローラーからワークスペースにドラッグします。または、ツールバーの「開く」ボタンを使うか、「ファイル」メニューの「ファイルのインポート」をクリックします。



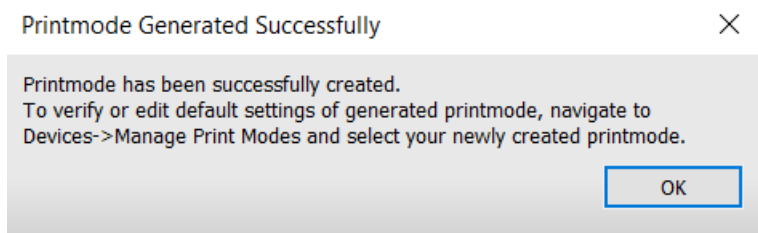
他のデバイスが **Digital Factory** にインストールされている場合、ユニバーサルコントローラードライバーがアクティブに選択されたキューである必要があることに注意してください。他のキューは印刷データファイルを認識せず、エラーが表示されます。



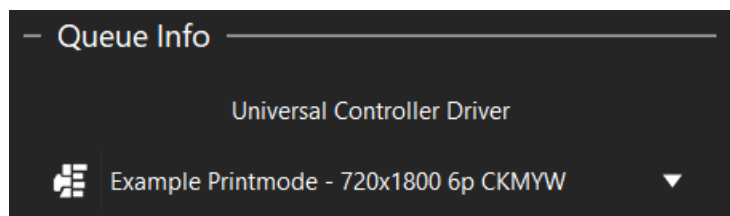
ファイルがインポートされると、印刷モードの作成ダイアログボックスがワークスペースに表示されます。ダイアログボックスを使用して、新しい印刷モードに名前を付けます。デフォルトでは、印刷モードの名前は **My Printmode** で、その後にデバイスの解像度、パス数、カラーチャンネルが続きます。適切な名前に変更します。



印刷モードに希望の名前を付けたら、**OK** をクリックします。印刷モードの生成に成功したことを通知する警告が表示されます。



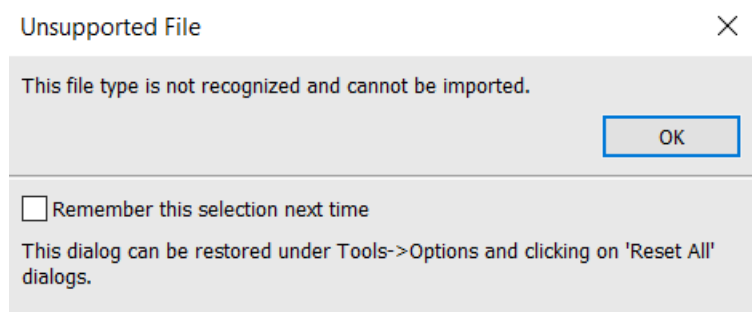
印刷モードが作成されたら、ソフトウェア内の任意の場所をクリックしてワークスペースをアップデートします。選択した印刷モードは、キュー情報ウィンドウの下の新しい印刷モードに反映されます。



トラブルシューティング

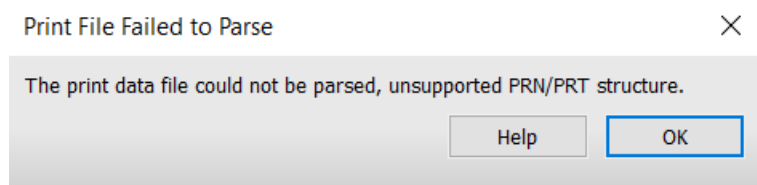
印刷データファイルのインポート時にエラーが発生した場合、2つのエラーメッセージが表示されます。

最初のエラーメッセージは、印刷データファイルを不正なキューにインポートした結果として表示されます。



- このエラーメッセージが表示された場合は、印刷データファイルのインポートを試みる際に、ユニバーサルコントローラードライバーのキューがアクティブキューであることを確認してください。

2つ目のエラーメッセージは、さまざまな潜在的な問題から生じる可能性があります。



以下は、このエラーメッセージの最も一般的な原因です。

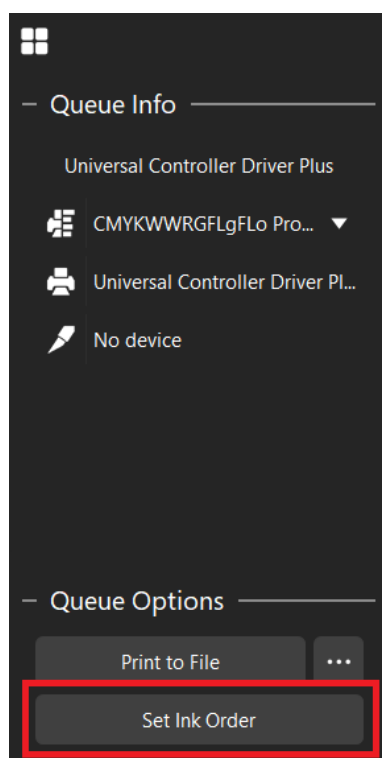
- 印刷データファイルがコントローラベースのプリンターから給紙されていない。
- 印刷データファイルがユニバーサルコントローラードライバーでサポートされていない。これは、ファイル構造の非互換性、またはユニバーサルコントローラードライバーが必要とする重要な情報（パス、カラーモデル、解像度など）の不足が原因で発生する可能性があります。
- 印刷データファイルが PRN/PRT ファイルではない。

エラーを修正するには、印刷データファイルがユニバーサルコントローラードライバーにインポートされていることを再度確認します。それでもエラーが発生する場合は、上記のユニバーサルコントローラードライバー機能に詳述されているように、手動印刷モード作成処理を行うことを推奨します。

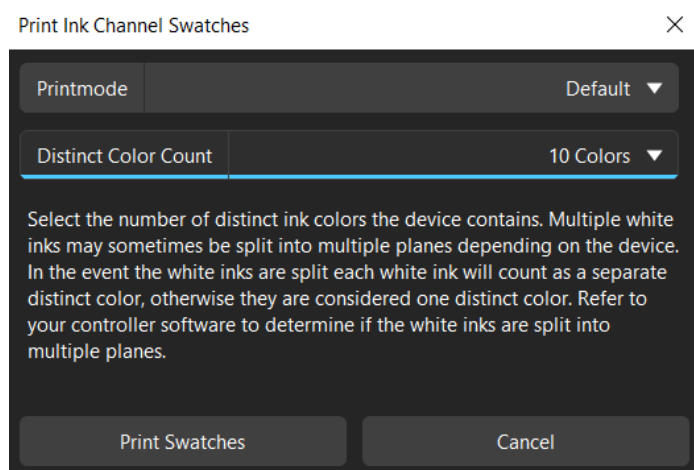
インク順序設定

インク順序設定ウィザードは、ユニバーサルコントローラードライバー（UCD）と連動し、新しいデバイスを高品質な出力で印刷できるように設計されています。インク順序設定ウィザードは、UCD を使用して作業印刷モードを作成した後の処理です。インク順序設定ウィザードは、デバイスの適切なインクチャンネル順序を決定および設定するためのシンプルでわかりやすい方法をユーザーに提供します。

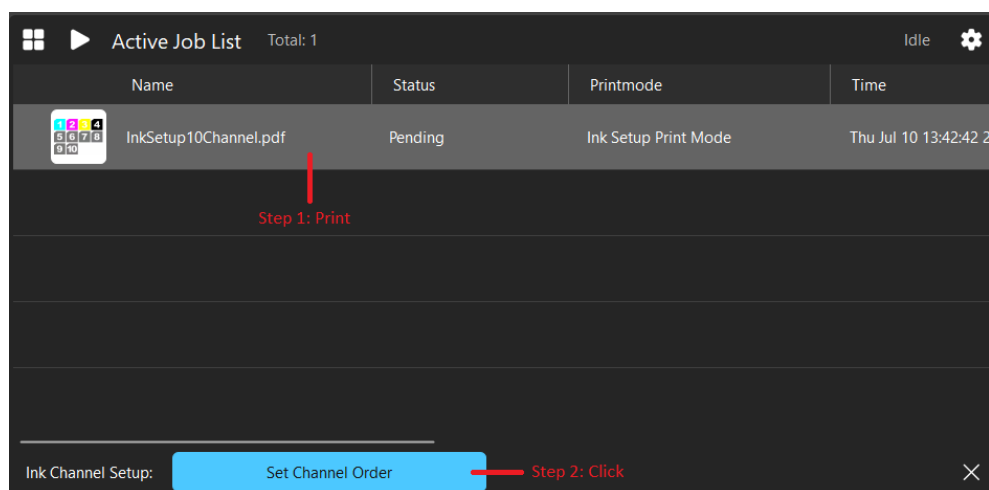
処理を開始するには、メインのワークスペースにあるキューオプションウィンドウのインク順序設定ボタンをクリックします。



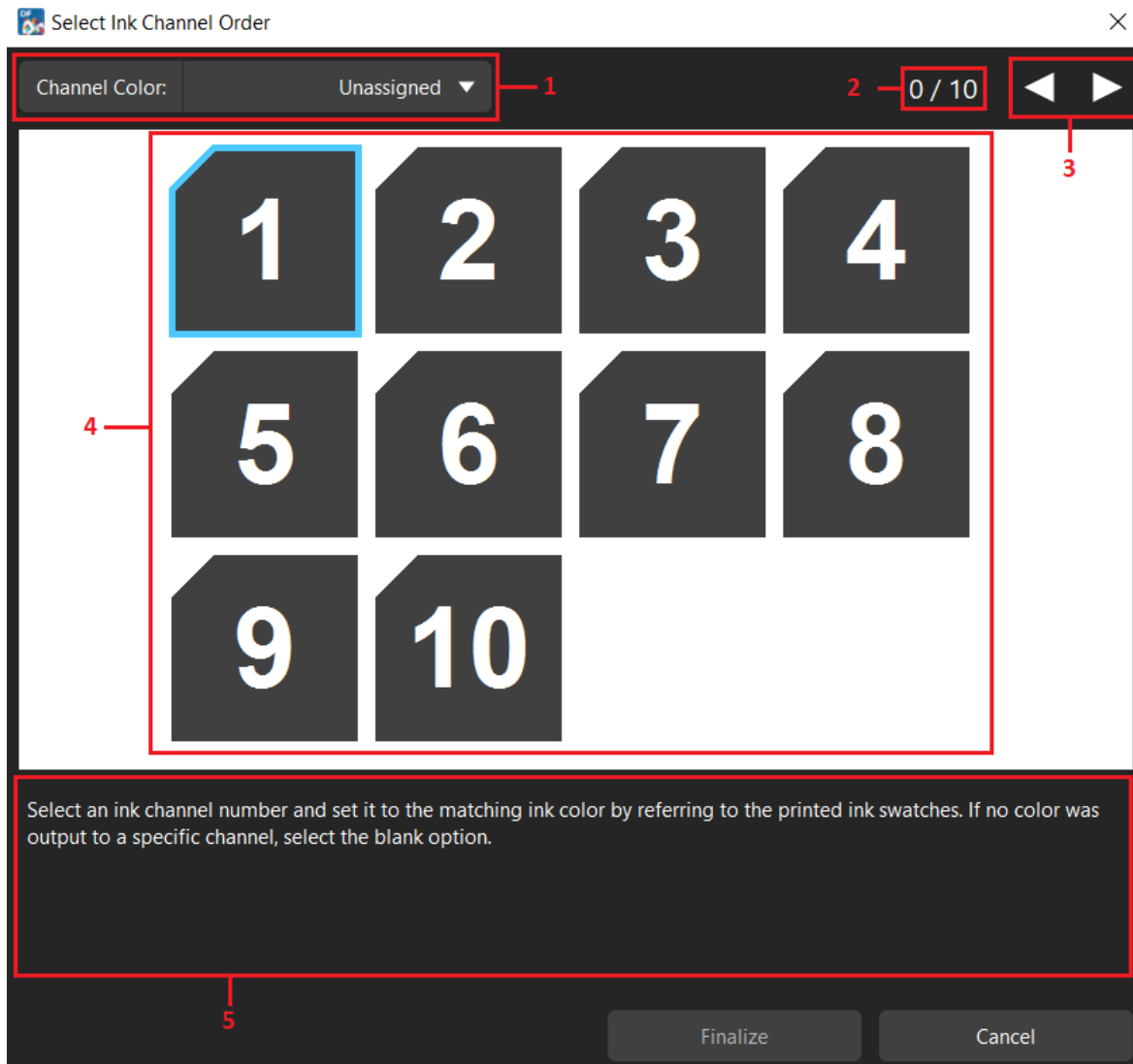
最初のステップは、デバイスのインクカラー数を設定することです。この段階では順序はまだ重要ではありません。デバイスを参照し、ドロップダウンメニューからカラー数を選択します。ウィンドウに記載されているように、ホワイトインクは、インクが複数のプレーンに分解されているかどうかによって、1つの明確なカラーまたは複数のカラーのいずれかになります。不明な場合は、デバイスのコントローラーソフトウェアを参照してください。



インクカラー数を設定したら、印刷スウォッチボタンをクリックします。チャートが適切なキューにロードされ、出力されます。チャートを印刷し、完了したらアクティブなジョブ一覧ウィンドウの下部にあるチャンネル順序設定ボタンをクリックします。

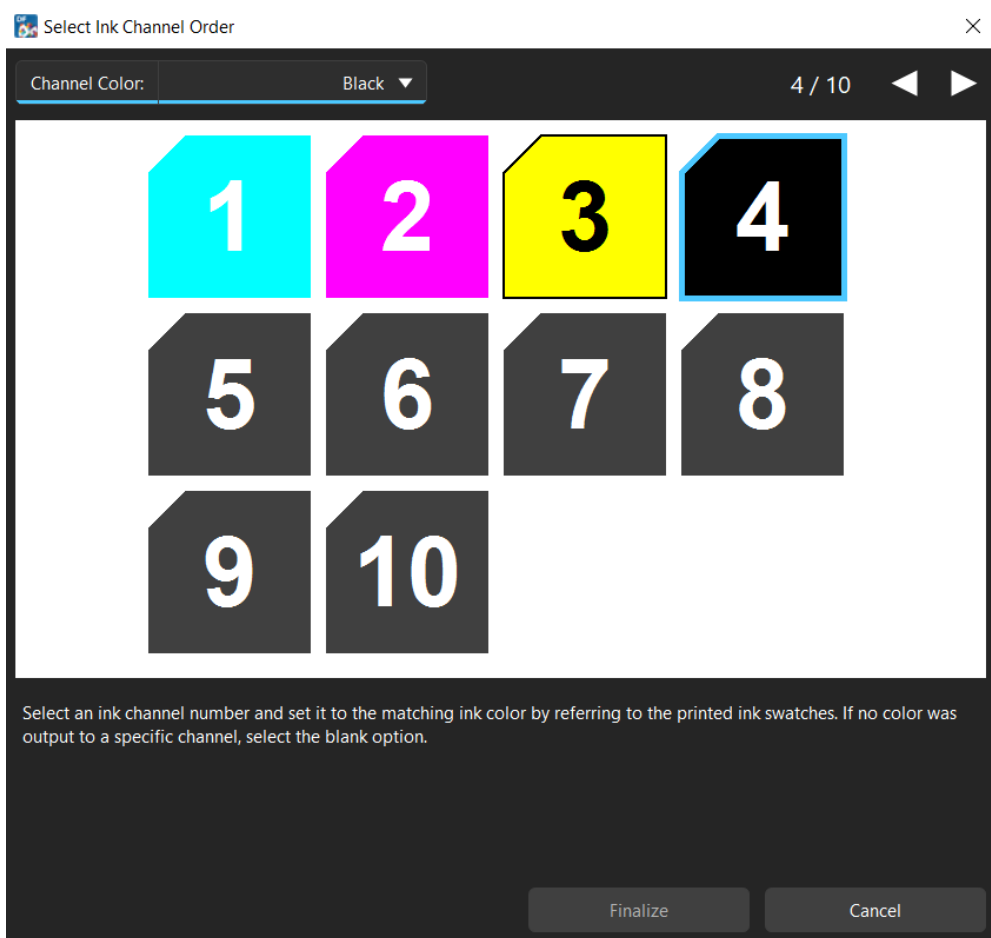


インクチャンネル順序の選択ウィンドウがスクリーンに開きます。このウィンドウで、印刷スウォッチに合うように各チャンネル番号を修正し、適切なインク順序情報を入力します。インクチャンネル順序の選択ウィンドウには、以下のインターフェース要素が含まれます。



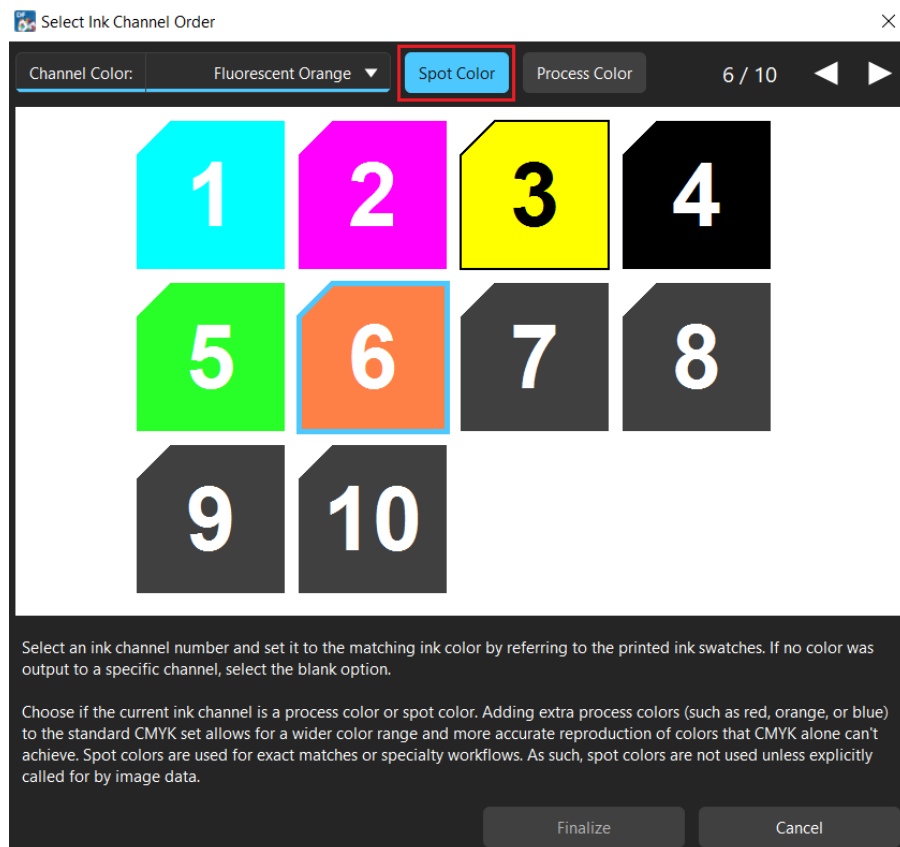
1. チャンネルカラードロップダウン：アクティブに選択されているチャンネルのインクカラーを設定するために使用します。
2. 進行状況カウンター：カラーが設定されているインクチャンネルの数を表示します。
3. ナビゲーション矢印：クリックして、次または前のインクチャンネルボックスを選択します。
4. インクチャンネルボックス：各ボックスはインクチャンネルに対応します。これらのボックスは、カラーを変更し、チャンネルカラードロップダウンメニューで選択された情報を反映します。
5. 指示と情報：現在の選択に関連する情報を表示します。

インク順序を設定するには、先のステップで印刷したスウォッチに合わせてボックスを修正する必要があります。アクティブに選択されたチャンネルボックスには、ブルーの輪郭が表示されます。ドロップダウンメニューを使用し、印刷スウォッチのカラーに合うようにアクティブチャンネルのカラー設定します。

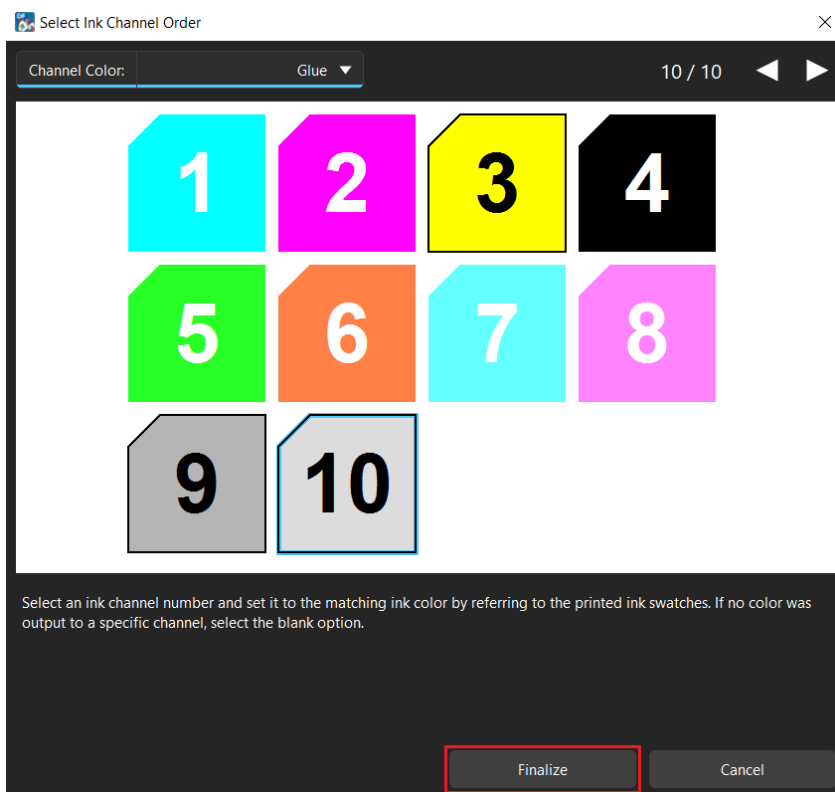


重要：インクチャンネルのカラーを設定する際は、シアン、マゼンタ、イエロー、ブラックのインスタンスが1つずつ存在する必要があります。シアン、マゼンタ、イエロー、ブラックは最初の4カラー以内である必要があります。

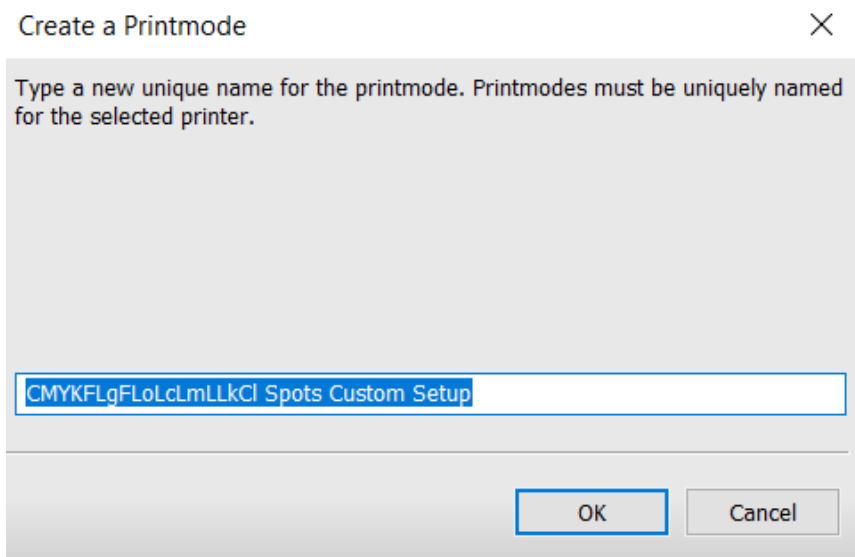
蛍光インクなどの一部のインクカラーは、スポットカラーとラベリングされることがあります。これらのインクでデフォルトで有効になっているスポットカラーは、通常のインクの混合処理から除外されます。スポットカラートグルボタンを使用して、これらのインクをスポットカラーとして使用するかどうかを設定します。詳細については、インクチャンネル順序の設定ウィンドウの説明を参照してください。



すべてのインクチャンネルが印刷スウォッチと一致するように設定されたら、完了ボタンをクリックしてこのステップを完了します。



インクチャンネル順序の設定ウィンドウが閉じ、新しく作成した印刷モードに名前を付けるフィールドが表示されます。デフォルトでは、印刷モード名は指定されたインク順序を反映しますが、必要に応じて名前を変更できます。



名前を付けて印刷モードを作成したら、デバイスは印刷準備完了です。

作業印刷モードを作成したら、使用しているデバイス用のプリンターカラープロファイルを作成することを推奨します。これは **Fiery Color Profiler** モジュールを使用して実行できます。モジュールの使用方法については、ビデオチュートリアル [Fiery Color Profiler の使用方法](#) をご覧ください。

以上が完了すると、「キューの情報」ウィンドウのドロップダウンメニューに印刷モードが表示されます。他のユーザー用に印刷キューをエクスポートするには、次の手順に従います。

- キュー>キューの管理の順に移動します。
- 「キューマネージャー」ウィンドウのヘッダーメニューにある「キューのエクスポート」ボタンをクリックします。
- キューに名前を付けたら、「保存」をクリックします。

これで、新しく作成したキューファイルを他のユーザーに送信したり、ワークフローにドラッグアンドドロップしてそのユーザーのバージョンの **Digital Factory** に追加したりできます。